『俳句への誘い（いざない）』

早いもので、令和七年も一月が終わってしまいました。寒さも厳しい中、インフルエンザが爆発的に流行しているというニュースが聞かれ、たいへん心配していいるところです。どうかみなさんも、感染防止に努めていただきたいと思っています。

今月は『俳句』を取り上げてみたいと思います。俳句とは、私たちが日々目にする情景や、四季折々の自然に触れたり、いろいろな人間模様を目にしたりして心の中に湧き上がってきた喜怒哀楽の感情などを、五・七・五のわずか十七文字で表す定型詩です。例えば、自分が「美しいなあ」と感じたものがあり、それを十七文字で表現し、その文字を見た人たちも同じ感情を共有していただけたのであれば、私なりではありますが、そこが俳句の醍醐味ではないかと感じています。

また俳句の特徴として、句の中に【季語】といって、春夏秋冬などその季節を表す語句を使わなければなりません。これによって、四季の移り変わりに敏感になり、結果として、日常の生活に張りが出て、元気で毎日を送ることができるのではないかと感じています。

ご紹介が遅くなってしまいましたが、この佐々並公民館だよりに作品を提供いただいている『ささなみ句会』という会があるのは、みなさんご存じのことと思います。毎月作品集を作成するために、パソコンを叩いていますが、お一人おひとりの作品に思いを馳せながら作業を行っています。「へえー。」と思わせるものもあれば、状況が手に取るように伝わってくるものなど、私にとって楽しいひと時になっています。そんな理由もあって、今回俳句の持つ楽しさをどうにかお伝えし、自分も俳句を作ってみようかな、と思う人が一人でも増えればいいなという思いを込めてこの場をお借りしています。

先にご紹介しました『ささなみ句会』の皆さんは、定期的に毎月一回句会を開催されています。絶賛会員さん募集中でいらっしゃるので、関心のある方は公民館までお問い合わせください。お待ちしています。

入ったよー

今月の新刊（佐々並図書室情報）

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

『　自然・植物あそび一年中　』

著：出原　大

五感を通して感じる・あそぶ参考書
身近な自然の中で楽しめる「植物あそび」「栽培」「製作」のアイディアを、春・夏・秋・冬・一年中に分けて110案、紹介。

『　笑う森　』

著：萩原　浩

神森で行方不明になった5歳児と迷い込んだ4人の男女。
拭えない罰を背負う彼らの真実と贖罪。
森での邂逅が導く未来とは。希望と再生に溢れた荻原ワールド真骨頂。

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆

今月のわくわく号
18日（火）
※ 活性化センター前 10：40～11：10

佐々並の今

（令和7年1月1日現在）

世帯数	260戸
男　性	250人
女　性	263人
合　計	513人
（前月比	△3人）
65歳以上割合	59.3%

ぎょうじよてい

○2月16日（日）午前10時～
　ささなみ住民福祉講座
　旭活性化センター多目的ホール
　Lino（りの）さんトーク＆ライブ
　　「今を生きる」
※申し込みは、佐々並地区社協（56－0856）にお願いいたします

○令和6年分確定申告受付
　明木会場　2月25日～28日
　佐々並会場　3月3日～6日

2月高齢者学級ご案内

と　き：令和７年２月７日（金）
　　９時３０分活性化発
会　場：マルチメディアセンター
内　容：旭老連ペタンク大会
２月は、旭老連のペタンク大会にタイアップ参加いたします。
多数のご参加をお待ちしています。
※３月７日（金）には、老連グラウンドゴルフ大会を計画しています。

萩往還ワンデーウォーク2025

開催日：３月２０日（木・祝）
①佐々並コース（17.3km）
　午前９時　旭活性化センター前発
②明木コース（8.3km）
　午前１０時　旭イベント広場発
ゴールは、両コース萩市民体育館です。
申込期限　２月７日（金）
※参加料やバス輸送に関しては、公民館備え付けの申し込みチラシで確認願います。
多数のご参加お待ちしています。

「走れる？」

二月一日に開催される「走れ、佐々並駅伝大会」に選手として参加することになりまして・・・。

スポーツは基本的に好きですが、マラソンは苦手です。子どもの頃、マラソン大会が近づくと風邪をひきたいとか大雨で中止にならないかなぁと思ったものでした。やらなくて済むならやりたくはないのですが、「参加しないか？」とお声をかけていただいたので、ほんの少し胸の奥のヒーローを呼び起こしてみることにしました。

さすがにぶっつけ本番は、身の危険を感じます。走って無様な姿をさらすのは恥ずかしすぎるので、少しは練習しようと思っています。気分を高めるために聴く曲は昔のドラマではまったスクール☆ウォーズの主題歌、麻倉未稀さんが歌う「ヒーロー」。この曲を聴いて熱くならない昭和世代はいないと勝手に思っています。

この佐々並駅伝大会、前回は天候が悪く中止となったようですが、今年は開催されますように。